

平成30年度決算 議会が審査・認定

予算決算常任委員会の委員長報告から

一般会計の決算状況は、歳入 361 億 5,765 万円、歳出 355 億 8,079 万円で翌年度に繰り越す財源を除いた実質収支額は 4 億 7,638 万円となっています。主要な財源指標の一つの経常収支比率は 96%で、他の指標から見ても健全と判断できました。しかし、今後、地方交付税や市税等の歳入増加は期待できず、また少子高齢化による社会保障費や、公共施設等の老朽化による維持管理費等の増大から市財政は厳しくなることが予想されます。

今回の審査では、これからも効率的な予算執行を行い、自主財源の確保、拡大に努め、引き続き安定した財政運営を行われるよう市に対し求めました。

歳入

議 = 議員 市 = 市長・市職員 (質問の一部を紹介します)

市税

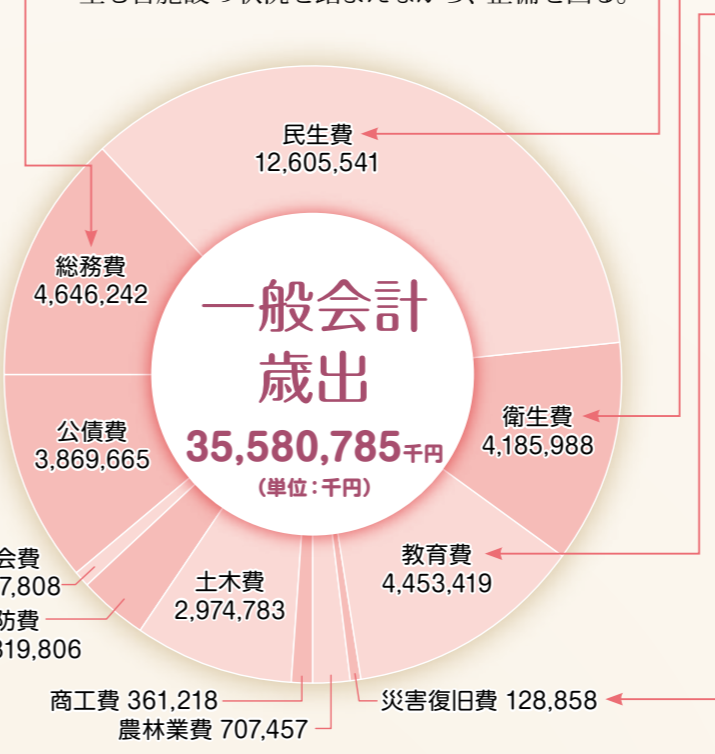
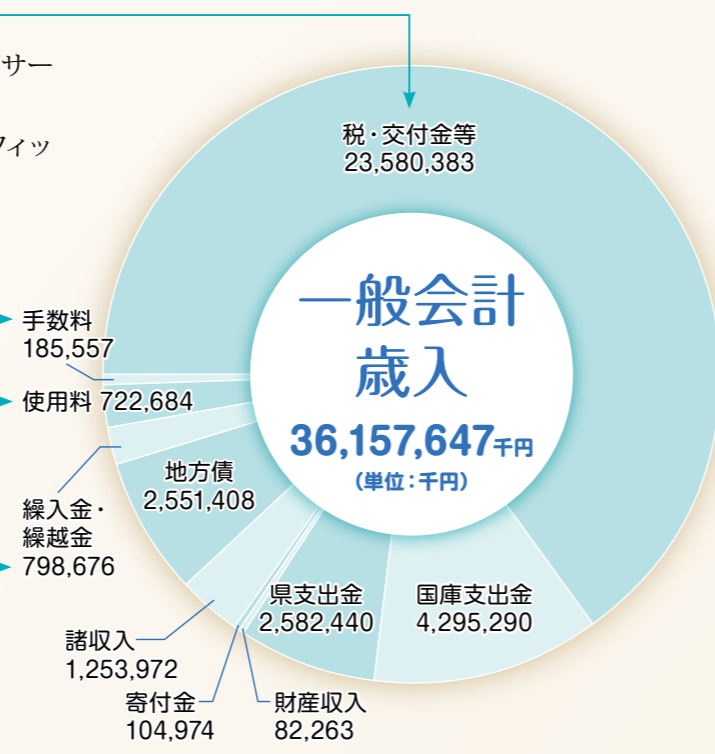
- 議 税収を増やす手段として、SMS(ショートメッセージサービス)を活用した納税催告をしてはどうか。
- 市 SMSは有効な手段であると考え。振り込み詐欺やフィッシング詐欺などの対策も必要だが、今後検討したい。

使用料及び手数料

- 議 映画や写真撮影等に公園を使用される方からいただく公園使用料について、条件を緩和し利用を促進すれば、市の収益増や負担軽減につながるのでは。
- 市 事業者が公園を使用する際に除草を行い、市の負担が軽減した事例もあり、今後も開かれた公園を目指す。

繰入金

- 議 文化振興基金は毎年約 4,000 万円取り崩され、残額が約 4,600 万円である。基金枯渇後はどうするのか。
- 市 基金がある限りは活用し、支出内容を根本的に見直して令和 2 年度上半期には新たな方向性を出したい。



総務費 企画費

- 議 ふるさと納税で収入を得ているが、返礼品以外にも経費が発生している。この支出をどう抑えるのか。
- 市 ふるさと納税をされる方の約85%がクレジットカード払いで、カード決済の手数料が発生している。また、パンフレット等の印刷経費や専属職員の人材派遣委託料など必要経費となっている。

総務費 防災対策費

- 議 日本各地で大規模な災害が発生しており、市でも避難所の間仕切りを備蓄しているが、簡易ベッド、授乳室、更衣室などは計画的に確保されているか。
- 市 マットや間仕切りの備蓄を進めているが、段ボールベッドの購入も必要と考える。授乳室や更衣室も各施設の状況を踏まえながら、整備を図る。

民生費 障害者福祉費

- 議 重度視覚障害者の同行援護給付事業の利用は 19 人と少ないが、ヘルパー派遣や給付金があることを、どのように周知しているか。
- 市 障害者手帳を交付する際に、その方が利用できるサービスを説明している。また、障害者の総合相談窓口「きいてネット」や障害福祉課へ問い合わせがあった時にも利用できる制度を説明している。

衛生費 環境保全対策費

- 議 電気自動車の急速充電器等の設置は必要だが、常時応答や緊急時対応業務の委託はどこまで必要か。実際にこの委託業務の対象となる事例は発生したのか。
- 市 時間外に来られた方への対応が 1 件、落雷による不具合の対応が 1 件あった。次回契約更新時には現在の契約の実績に基づき、委託料、事業者選定等を検討したい。

教育費 学校給食費

- 議 三田肉を使用したふるさと給食は平成 30 年度に廃止となったが、市からは、その後も保護者からの給食費で三田肉を使える状態にしたいと聞いていた。実績はどうか。事業の復活への検討は。
- 市 米や牛乳等の値上がりが続く、給食での三田肉使用は厳しい状況にある。ふるさと給食で三田トマトを活用した料理等「三田の食材の日献立」を新たに実施し、食育に取り組んだ。三田肉の使用についても引き続き検討する。

災害復旧費

- 議 平成 29 年の台風で学校に設置の太陽光発電設備が破損し、修繕に 1,794 万円かかっているが、売電価格が下がっている中で大きな金額の支出である。今後も台風などの災害の発生が予測されるがどう考えるのか。
- 市 この台風は設備の整備基準を上回る風速であった。売電価格はあと 10 年は一定金額での契約だが、技術の向上等も推測されることから今後については更新時に検討する。

企業会計 (独立採算による特定の事業を管理する会計)

市民病院事業会計	
収益的収入: 9,021,965千円	収益的支出: 8,864,620千円
資本的収入: 952,270千円	資本的支出: 1,460,868千円
水道事業	
収益的収入: 3,150,475千円	収益的支出: 2,601,018千円
資本的収入: 1,485,155千円	資本的支出: 2,491,495千円
下水道事業	
収益的収入: 2,988,362千円	収益的支出: 2,955,383千円
資本的収入: 782,373千円	資本的支出: 1,503,801千円

三田市民病院事業会計

- 議 医師の働き方改革について、現在、診察や治療の他に経営改善等にも努力をいただいているが、近い将来、医師の健康面が限界となるのでは。
- 市 国では、連続勤務の制限や勤務間のインターバル、医師が行っている業務を医師以外が行う「タスク・シフティング」等が議論されている。院内の「医師業務負担軽減推進委員会」等において、業務改善の検討を進めたい。

特別会計 (事業目的を限定し、特定の歳入を特定の歳出に充てて管理する会計)

国民健康保険事業特別会計	駐車場事業特別会計
歳入: 9,787,968千円	歳入: 69,841千円
歳出: 9,608,114千円	歳出: 64,223千円
農業共済事業特別会計	後期高齢者医療事業特別会計
歳入: 168,822千円	歳入: 2,194,353千円
歳出: 90,698千円	歳出: 2,157,972千円
公営墓地整備事業特別会計	介護保険事業特別会計
歳入: 16,113千円	歳入: 7,127,535千円
歳出: 16,113千円	歳出: 6,921,610千円

駐車場事業特別会計

- 議 今回初めて駐車場事業の収入で約 562 万円の利益があったが、この利益を平成 30 年度に一般会計からの借入金の返済へあてるべきだったのでは。
- 市 今回の黒字は、新三田駅前の福島土地区画整理事業で民間駐車場が減り、一時的に利用が増えたことによると考えられる。今回の利益分は令和元年度に一般会計へ返済する予定である。